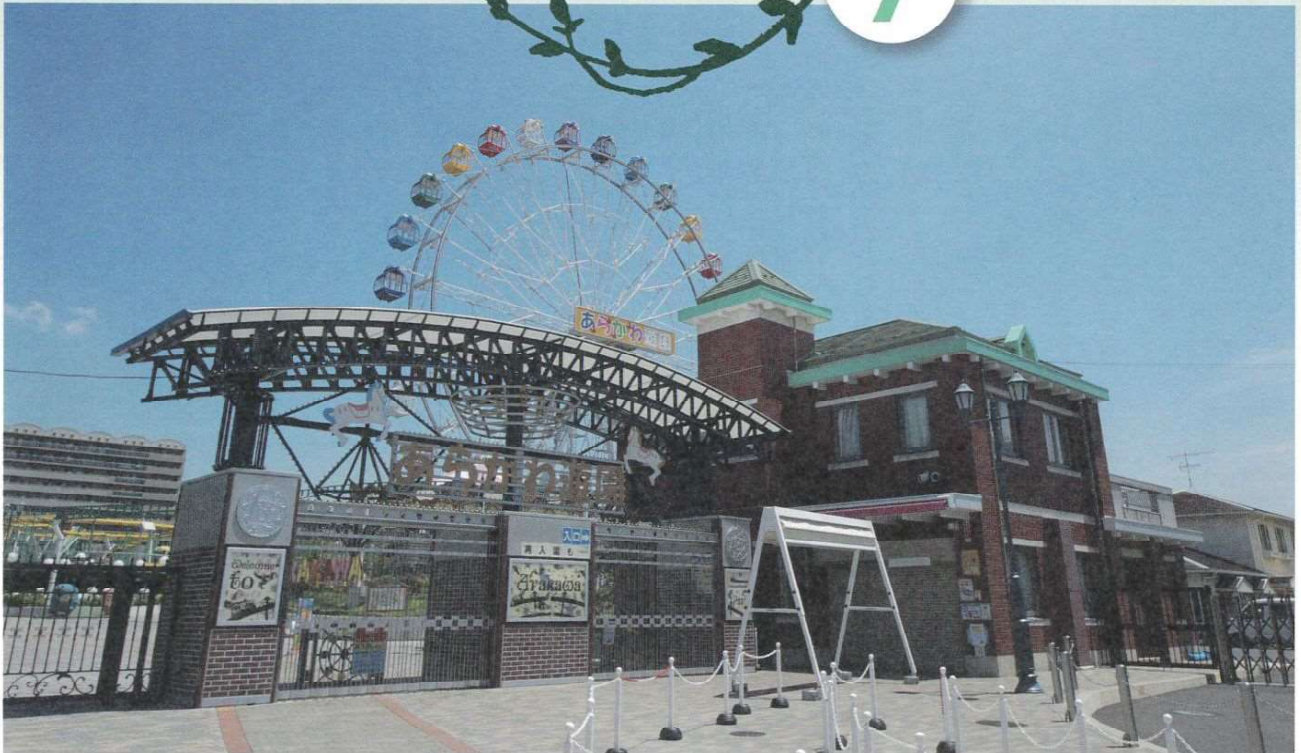


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
発行人 山崎 哲  
編集長 仲井 真裕  
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和6年  
7月号

大悲に生きる人とあう  
願いに生きる人となる



あらかわ遊園(荒川区)

## 西徳寺の予定

### 7月

13日(土)～16日(火) 盂蘭盆会

(10日からお盆体制となり、  
新盆を中心にお参りに伺います。)

20日(土) 午後2時 燈虹塾 和楽器体験

21日(日) 午後2時半 中央ブロック会間法会

場所:西徳寺

24日(水) 午後1時半 婦人会間法会

27日(土) 午後2時 定例間法会

### 8月

3日(土) 午後2時 総代会

13日(火)～16日(金) 盂蘭盆会

※予定は変更することがあります。

詳しくは寺務所までお問合せください。



## ランドマーク あらかわ遊園(荒川区)

今月は7月、夏休みが近いこともあり、荒川区にある都内で最も古く、現在は唯一の公営遊園地「あらかわ遊園」に伺いました。

この場所は元煉瓦工場で、工場の経営者であった広岡勘兵衛が大正11年(1922年)に、私立遊園地「荒川遊園」を開園しました。第二次世界大戦中は、陸軍高射砲の陣地となり一時閉鎖されましたが、昭和25年(1950年)から荒川区の区立遊園地として再出発しました。

園内には観覧車やメリーゴーランド等のアトラクションの他に、小動物園やピクニック用の広場、遊具施設、水遊び場などが多くあり、幅広い層の方々を楽しめます。

顧問の一言は次のページ

# 7月の山門の言葉



## 「無慙愧」は名付けて「畜生」とす 『涅槃経』

六歳になる長男は好奇心の塊である。いろいろなことに興味を示し、その都度私たち親に「どうして、どうして」と聞いてくる。

先日「糸はどうやってできるの?」という疑問に、妻が蚕から糸ができるまでを動画で見せていた。繭をまとった蚕をそのまま煮て殺し繭を取ることを知り、息子は「虫さんがかわいそう」と号泣してしまった。その姿を私と妻は笑って見ていた。

果たして笑って済ましていいのだろうかと後日ふと思った。これが自分の大切な人だったなら、大事にしている物だったなら笑って済ませられるはずがない。蚕のいのちを奪って糸を作り、その糸でできた服を着ている。当たり前すぎて悲しみも感謝も何もない。私たちは何に「いただきます」と言っているのか。

この言葉は『涅槃経』に出てくる。いろいろないのちの犠牲の上に私たちは今生かされている。そのことに悲しみや痛み、感謝や尊敬といった感情がどれほどあるだろうか。服を着るのは当たり前、お金を払えばご飯が食べられるのは当たり前。そういう私たちの姿を仏教では「無慙愧」とい、「畜生」といいあてているのである。

「あなたは人間ですか?」と問われれば、百人が百人「当たり前前だ」と即答するだろう。しかし仏の眼は、悲しみや痛みや感謝なく生きている私の姿を、人間の皮を被った畜生であると見破っている。

長男の好奇心が、はからずも私の本性を暴き出した。

(蓮井 邦宗 記)

## 顧問のカレンダーに聞く

### 行いと言葉の

### 背後に

### 世間があるか

### 如来があるか

The question is whether our words and deeds are based on the Tathāgata or worldly concerns.

世間を娑婆といいますが、忍土ともいいます。思うようにならない妥協の場所、我慢する場所、お互いに譲り合いながら本音を外に出せない消極的な日常…。様々な関係性の中にいのちをいただいています。その関係を切り離し、我が物顔に生きているのが私たちです。

しかし生かされている尊さ、今日を生きる勿体なさ、支えられているかたじけなさ、時々感じることにあります。そのことに頷き、頭が下がる時、私にかけられた如来の願いを知らされるのです。





## いまさら聞けないお寺のこと

### 【念珠(数珠)】



念珠の歴史は古く、釈尊在世より古くからあったとされています。

起源は諸説ありますが、今から3500年以上前、バラモン教の聖典に登場してくる毘沙門天、弁財天、梵天の持ち物(装飾品)としてあった連珠というものが、念珠の原型とされています。その後、密教の興隆に伴い、重要な法具として位置づけられ、となえた念誦の数を記録するための礼拝具として普及しました。日本には飛鳥時代、仏教伝来とともに伝わったとされています。

浄土真宗では、仏事における礼拝のために用いる法具であり、念珠を持つことが信仰の現れともいわれます。畳や床の上に直接置いたりせず、大切に扱ってください。また仏事の際は貸し借りなどはせず、必ずお一人ずつお持ちください。

他宗では念仏を称えて念珠を繰り、数を数えたり、こすり合わせて音を出すことがあるそうですが、浄土真宗ではそのようなことはいたしません。



### 合掌と礼拝の姿勢

#### ・合掌

背筋をまっすぐにのびし、両手をみぞおちのあたりで自然に合わせます。このとき念珠は片手ではなく両手にかけて、房が下になるようにつまみます。

#### ・礼拝

ご本尊を仰ぎ、合掌しながら「南無阿弥陀仏」と称え、念珠をかけて合掌したその姿勢で一礼します。

## 西徳寺本堂の歩みと現状

この度、耐震診断の審査が終了致しました。

鉄筋やコンクリートの状況は良好で、また品質も秀逸との結果でした。しかしながらバランスの観点から、補強が必要とのこと。

また雨漏りの状況や重量を考えれば、屋根の葺き替えは必須との報告を受けております。

今後、具体的な工事内容のご提案をいただくこととなっておりますので、引き続きお知らせ致します。

西徳寺住職 山崎 哲



## 城北ブロック会総会・聞法会報告

6月9日(日)、くいもの屋わん池袋西口公園前店に於きまして、総会・聞法会を開催し、ご参加いただいた16名の方に総会の議事についてご審議いただきました。尚、今回の総会をもちまして、中条会長が勇退され、相談役に就任されました。



聞法会のテーマは「あつて困る」。大谷顧問からは「老・病・死、嫌なものばかりに出会うのが私たちの人生。その苦に向き合った釈尊が、いのちは与えられるものだと思ったのだ」と教えられました。その後の懇親会は、終わるのが惜しいほどの大盛り上がりでした。

**次回は11月17日(日)、西日暮里**での聞法会を予定しています。テーマは「生きていこうに楽しんでおかなば」です。皆様のご参加をお待ちしております。

(担当：仲井 真裕 記)

## 城東ブロック会のご報告

去る6月16日(日)に総会・聞法会を開催いたしました。今回は初めての地・亀戸文化センターでの開催でした。

当会がかねてより加藤廣さんを会長として開かれていましたが、このたびより相談役に就任し、今回新たに今村孝一さんが会長就任することで承認されました。今後ともよろしく願いたします。



総会の様子

大谷最高顧問より「いのちは自分のものではなく、いただくもの。それを聞法で確認していくのである」と教えていただきました。何でも自分のものとしている身に問われるお言葉でありました。

**次回は9月8日(日)、金町地区センター**で聞法会を開催する予定です。(担当：高橋 淳 記)

## 燈虹塾セミナーのご報告

NHK 大河ドラマ、2025年の主人公は蔦屋重三郎と報道されています。今回は蔦重研究の第一人者である鈴木俊幸先生をお招きして、お話を伺いました。

蔦重は吉原の五十間道にて商いを始められ、それまで誰も注目しなかったところに広告を挟みこんだり、驚くような技法で紙面を節約したりと、敏腕ぶりを感じさせられました。またその人脈の豊かさにも驚かされ、見えないところでどのような行動をしていたのだろうと興味をかき立てられる時間でありました。



本堂にて蔦重のお話を伺いました

(事務局：高橋 淳 記)

## 御親修 開基400年・本堂建立100年記念法要

令和6年11月2日(土)、3日(日)西徳寺報恩講を勤修いたします。併せまして記念法要をお勤めいたします。詳細は改めまして本誌にてお知らせいたします。大勢のご参詣をお待ちしております。また記念法要では帰敬式を執り行います。受式希望の方は下記をご参照ください。

### 帰敬式(令和6年11月3日(日)午後)

冥加金	法名	20歳以上	20,000円以上
		20歳未満	10,000円以上
		小学生以下	5,000円以上
	院号法名	希望	190,000円以上
	院号	希望(すでに法名をお持ちの方)	170,000円以上

### ●募集締切：令和6年9月30日(月)●

※法名とは「釋〇〇」、院号とは「〇〇院」、院号法名とは「〇〇院釋〇〇」のことで。

受式を希望される方は西徳寺寺務所  
(03-3875-3351)までご連絡ください。

受式を希望される方には、  
後日詳細を書面にてお送りします。



## お盆案内

今月13日(土)から16日(火)は盂蘭盆会(お盆)を迎えます。  
先立たれた方々に手を合わせることを縁として、自らの歩む道に思いを馳せるお盆。そのひと時を大切に迎えてくれたのがお盆です。

特別なお荘厳は要りません。皆様と共に手を合わせたいと思います。

ご自宅や墓前、本堂での読経をご希望の方はお寺までお問い合わせください。

またお盆、お彼岸に関わらずご自宅でのお参りを希望される方はお気軽にご連絡ください。

なお、お盆期間、特に週末は境内が混み合いますので、お参りは公共交通機関をご利用ください。



## 坊さんのツブヤッター



@テッシン

3月に長女(高2)次女(中2)次男(小2)の娘と息子が得度式を受けました。

報恩講などの法要に出仕させて頂く予定です。

今回の受式が仏法を聞いていく御縁になればと思います。

受式する我が子を見て、とても感慨深いものがありました。



「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

## えこお志お礼

新潟県 大蓮寺 様

板橋区 江辺 康光 様



ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

## 内愚外賢

～賢者の信を聞いて、  
愚禿が心を顕す～

昨年の夏、西徳寺で開催した独歩会布教大会(本山で共に研修を受けた若手布教使の集い)。6月12日に第3回の布教大会が京都であり、参加してきました。

会場となったお寺さんの尽力もあり、多くのご聴聞をいただき、法話後は会員同士で厳しい意見も飛び交いました。改めて私たち僧侶は聴いてくださる方々に支えられ、育てられているのだと実感しました。反対に、仏法をお伝えするはずが、“教えてやる”になってしまうことがあると聞きます。

世間に迎合する危うさもありますが、たまたま衣を着る縁をいただいた僧侶の分限・役割について、これからも課題にしていきたいと思えます。

(編集長 仲井 真裕 記)



お祭りに参加する娘

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)

🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook